



ほっこう

甲府市立北新小学校
2019. 1. 28
No. 10
発行：校長室

3学期がはじまりました！

皆様には、希望に満ちた平成31年の春をお迎えのことと存じます。旧年中の本校教育へのご理解・ご協力・ご支援に対しまして、心よりお礼申し上げます。

1月9日（水）から3学期も始まり、元気な子どもたちの姿が学校へ戻ってきました。それぞれの学年にとって3学期は、1年間のまとめと来年度への準備という二つの意味があります。特に6年生は、小学校の6年間のまとめと、中学校生活への準備という大きな節目を迎えます。6年生には残り二か月間、心もしっかり成長させていってほしいと願っています。

さて、今年はいのしし年です。十干十二支（じっかんじゅうにし）で言えば「己亥」（つちのと・い）になります。さて、己亥の年はどんな年になるのでしょうか。干支で使われる「亥」（い）は十二支の最後にあたり、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態とされています。そのため来るべき時に向けて、自分の考えや準備などを確実にできる粘り強さを持っています。さらに己亥の「己」（つちのと）には、「草木が十分に生い茂って整然としている状態」という意味があります。そのため、「亥」と合わせると来るべき時に向けて準備を整えている状態になります。2019年は自分磨きを行ったり、将来を考えて自分自身のスキルアップを行ったりするのに最適な年となるようです。

本年も保護者・地域の皆様方の協力をいただきながら本校職員一同、心を新たにして教育活動を一層推進してまいりますと決意しております。どうぞ、子どもたちの健やかな成長のため、今後も旧年にならぬご理解とご協力とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。



新年親子の集い

1月5日（土）に北新地区育成会主催の「新年親子の集い」が開催されました。今年も100人近くの子供たちが集まりました。参加する子どもたちは年々増えているように思います。また、お正月遊びを親子で楽しむ姿が多く見られました。育成会の皆さんのおかげでたくさんのお話を体験できました。ありがとうございました。



講演会を実施しました！

1月22日（火）に絵本作家の西村繁男先生による講演会を実施しました。西村先生が絵本作りを始めたきっかけや先生の作った絵本についてのお話を聞くことができました。また、「せいでイモのはなし」という西村先生が作った絵本をいただきました。江戸時代に甲府代官となり数々の善政を行った「中井清太夫」（なかい せいでゆう）のことが書かれています。清太夫は、凶作に備え「ジャガイモ」を長崎から取り入れ、広めました。そのおかげで、天明・天保の大飢饉の時も、甲州の人々は飢えから逃れ、命をつなぐことができたそうです。郡内の人々は清太夫への感謝込め「ジャガイモ」を「せいでいも」と呼び続けてきました。清太夫の名前は、上野原地方にある郷土料理「せいでのたまじ」としても残っています。また、塩部にある神社「神明社」にまつられているのは、この「中井清太夫」です。絵本は、図書館にありますから、たくさんの人に読んでほしいと思います。



スポーツ集会

1月18日（金）に体育委員会が計画したスポーツ集会が開催されました。今年も「長縄チャレンジ大会」と「ドッジボール」の2つを行いました。どのチームも力を合わせて頑張っていました。今まで縦割り班ごとに、長縄の練習をしてきました。その練習の成果を発揮して、低学年の子どもたちも上手に長縄を跳んでいました。また、ドッジボールではセルフジャッジ（自分たちでもジャッジをする）を取り入れて試合をすることができました。体育委員会の皆さん、ご苦労様でした。



お願い！



1月9日（水）の朝、校庭にある体育倉庫のガラスが割れていることに気が付きました。ガラスは、針金入りの丈夫な物でしたが、石などの硬い物が当たり、割れてしまったと思われます。休日など学校が休みの日に、体育倉庫の壁に向かってボールをけったり、投げたりしている人を見かけることがあります。割れてしまうことがあるので、止めてもらいたいと思います。また、学校の周囲に付けてある注意喚起の表示が切られていることもありました。北新小では、こういったことが、ほとんどなかったのですが、とても残念に思います。何かお気づきのことがありましたら、学校に連絡していただきたいです。